

海生研シンポジウム 2017

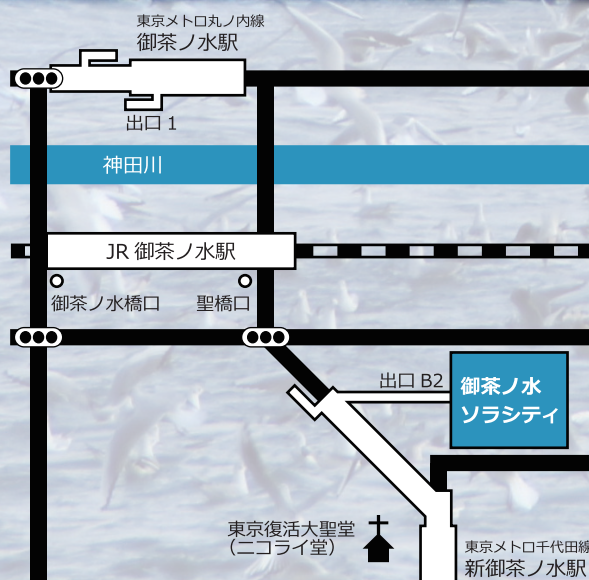
海域環境保全に求められる 新たな視点

日 時

8月31日(木)
13:00(開場 12:30)

場 所

御茶ノ水ソラシティ
カンファレンスセンター
2階 Hall West



アクセス

JR 中央線・総武線 「御茶ノ水」 駅
聖橋口から 徒歩 1 分

東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水」 駅
B2 出口【直結】

東京メトロ丸ノ内線 「御茶ノ水」 駅
出口 1 から 徒歩 4 分

開催の趣旨

近年、火力発電所の新設や建替え、また洋上風力発電設備の新設など、沿岸海域の開発・利用が増加傾向にある中で、沿岸海域の環境保全はこれまで以上に重要となっています。

本シンポジウムでは、海生生物の「生死」や「分布」を主体とした従来の評価に加え、海域の環境保全における新たな視点として「行動」をキーワードに、これまでの海生研の成果がどのように活用できるのか、また今後どのような調査・研究が必要となるのかを考えていくとともに、沿岸海域の開発・利用と環境保全の両立の一助としたいと思います。

プログラム

12:30 開場・受付開始

13:00 開会 （司会進行：研究企画調査グループマネージャー 渡邊 剛幸）

開会挨拶 公益財団法人海洋生物環境研究所理事長 香川 謙二

趣旨説明 公益財団法人海洋生物環境研究所理事 藤井 誠二

13:20 基調講演

温度に対する魚類の行動反応の把握

海洋生物グループマネージャー 三浦 雅大

温度と植食動物の行動

実証試験場長代理

渡邊 幸彦

水中音と魚類の行動

海洋生物グループ総括研究員

島 隆夫

行動解析手法の現状と可能性

海洋環境グループ主査研究員

長谷川一幸

質疑応答

15:00 休憩

15:20 特別講演 日本の豊かな魚食文化を支える海洋生態系の多様性を考える

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター長・教授 河村 知彦

16:20 休憩

16:30 総合討論 （座長：東京大学名誉教授 日野 明德）

テーマ：今後の海域環境保全に求められる新たな視点－生物行動に着目して－

17:30 閉会挨拶 公益財団法人海洋生物環境研究所理事 木下 泉

お申込み

シンポジウムには、**無料でご参加**いただけます。

海生研ウェブサイトにある専用応募フォームに必要事項をご入力の上、お申込みください。

<http://www.kaiseiken.or.jp/symposium2017.html>

お問い合わせ 事務局 研究企画調査グループ

Tel. 03-5225-1161 / Fax 03-5225-1160 / E-mail symposium2017@kaiseiken.or.jp

※FaxやE-mailでのお問い合わせには、必ず件名に「**海生研シンポジウム2017問合せ**」と明記ください。